

県道戸鹿野下之町線（戸鹿野橋）老朽橋梁架替事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

インフラの健全性を次世代に引き継ぐため

老朽化した橋梁を架替えます

地元の声

- ・橋の上の道路幅が狭く車のすれ違いが心配。(地元住民)
- ・重量の制限がなくなると良い。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 沼田市屋形原町
- 事業内容: 老朽橋梁架替 橋長 88.0m 道路幅 9.75m (R3年度)
- 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 8,018台/日(自動車)

事業前

- ◆ 老朽化によって橋の健全度が低下しつつあることや、道路幅が狭く、すれ違いが困難となっています。
- ◆ 重量14t規制となっており、大型車が通行できないことが課題となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 新橋が開通することで橋の健全性が改善されるとともに、大型車が安全に通行可能となります。



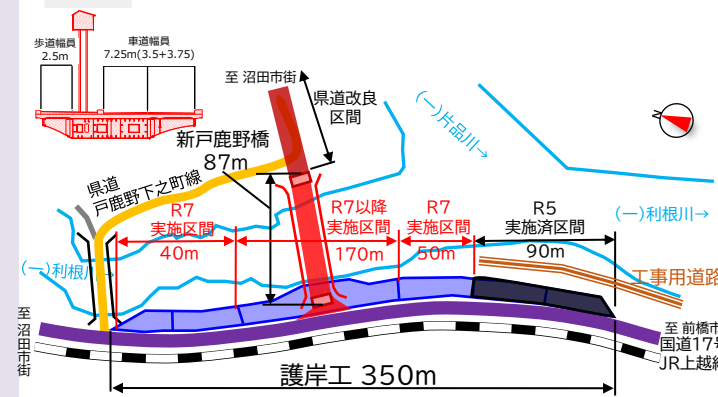
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
道路橋の機能の確保	主要部材(主桁等)に損傷あり
大型車交通を可能にする	重量14t規制
道路幅員	5.50m

実施後(目標)
損傷なし
重量規制なし(大型車交通可)
9.75m



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、護岸工事を実施するとともに、県道改良部分の用地取得を実施します。



事業のすすみ具合

